

工 事 計 画 書

青字：記入例、赤字：注意事項

太陽電池発電所（設置 [変更] の工事）

（１）一般記載事項

発電所の名称：〇〇太陽光発電所

発電所の位置：〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号

地番等が複数にまたがる場合は、代表番地を記入すること。

発電所の出力：〇〇〇〇 kW

発電所の出力は、太陽電池モジュール出力の合計値とする。ただし、太陽電池モジュールと逆変換装置の間に電気を消費又は貯蔵する器械を接続しない場合は、逆変換装置の出力を発電所の出力としてもよい。

太陽電池モジュール出力の合計：〇〇〇〇 kW

連系電圧：〇〇 V

周波数：60 Hz

（２）設備別記載事項

１．太陽電池

太陽電池	種類	多（単）結晶シリコン太陽電池
	出力	〇〇 W
	開放電圧	〇〇 V
	短絡電流	〇〇 A
	モジュールの個数	〇〇 枚

2. 変圧器

2-1. ○○用変圧器

変 圧 器	種類		油入自冷式変圧器
	容量		○○ kVA
	電圧	1 次	○○ V
		2 次	○○ V
		3 次	
	相		3 相 or 単相
	周波数		60 Hz
	結線法	1 次	Y
		2 次	Δ
		3 次	
	冷却法		送油自冷
	個数		1 個
	保護継電装置 の種類		比率差動継電器 (87□) 圧力継電器 (96□) 過電流継電器 (51□) 地絡過電流継電器 (51GR)

※「電圧」欄について、電圧調整装置を有するもの場合は、電圧調整範囲及びタップ数を付記すること。

※設置する変圧器全て（所内用変圧器を含む）について表を作成する。

3. 遮断器

3-1. ○○用遮断器

遮断器	種類	真空遮断器 (VCB)
	電圧	○○ V
	電流	○○ A
	遮断電流	○○ kA
	遮断時間	○秒 (○サイクル)
	個数	1 個
	保護継電装置の種類	過電流継電器 (51□) 地絡過電流継電器 (51GR) 比率差動継電器 (87□)

3-2. ○○用 LBS

遮断器	種類	限流ヒューズ付き 高圧交流気中負荷開閉器	
		高圧交流気中負荷開閉器(LBS)	限流ヒューズ(PF)
	電圧	7.2 kV	7.2 kV
	電流	200 A	30 A
	遮断電流	—	40 kA
	遮断時間	—	—
	個数	2 台	2 組 (6 本)
	保護継電装置の種類	ストライカ装置	—

※全ての遮断器（真空遮断器・限流ヒューズ・配線用遮断器等）について記載する。ただし、以下については、記載を要しない。

- ・VT 用のヒューズ
- ・所内電源用の 低圧 の遮断器（高圧・特高の遮断器は記載すること）

4. 逆変換装置

4-1. 逆変換装置 1

逆 変 換 装 置	種類	〇〇型
	容量	120 kW
	電圧	DC 240 V / AC 200 V
	電流	DC 417 A / AC 346 A
	相	3 相
	周波数	60 Hz
	結線法	
	個数	1 個
	保護継電装置 の種類	系統過電圧(OVR) 系統不足電圧(UVR) 系統周波数上昇(OFR) 系統周波数低下(UFR) 受動的単独運転検出 能動的単独運転検出

※「容量」欄について、メーカーにて出力制限を行っている場合は、出力制限後の値を記入すること。出力が異なる逆変換装置が何種類かある場合は、出力ごとに表を作成する。

5. 電力貯蔵装置

電 力 貯 蔵 装 置	種類	リチウムイオン蓄電池
	容量	8 万 kWh
	主要寸法	〇〇×〇〇×〇〇 (mm)
	電圧	6,600 V
	電流	800 A
	個数	1 個
	用途	発電電力平準化用
	保護継電装置 の種類	過電流継電器 (51□) 過電圧継電器 (59□)

6. 発電所の運転を管理するための制御装置

制御方式	随時巡回方式
------	--------